6. お手入れのしかた

煙感知部表面にホコリやくもの巣がつくと、正しく感知しにくくなります。警報器がより良い状態で動作するように、お手入れをお願いします。次の方法でお手入れしてください。

⚠ 注 意	お手入れ時は高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようにご留意ください。

・年に1回は布で煙感知部のホコリやくもの巣を拭き取ってください。

・表面の汚れは中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き取ってください。
※ベンジン、シンナーは表面を傷めますので、絶対に使わないでください。

・お手入れ後は『 5. 使用方法 点検のしかた 』のとおりに作動の確認をしてください。
・電池の寿命は通常の使用状態で5年です。電池の寿命が近づくと約10秒間隔で警報器前面の赤色ランプが1週間以上点滅し続けます。新しい警報器とお取り替えください。

7. 故障かと思ったら

・試験などで故障と思われたとき、修理・サービスを依頼されるまえに、下表に従って点検および処置をしてください。

状 態	点 検	処 置
火災の煙でないのに警報動作する	警報器の近くで調理の煙や蒸気が滞留していないか?	煙、蒸気などを取り除く
	くん煙式殺虫剤やスプレー殺虫剤を使っていないか?	窓やドアを開け換気する
	煙感知部にホコリやくもの巣がついていないか?	付着物を取り除く
点検スイッチを約1秒間引いても音声警報が鳴らない	電池の取り付けが間違っていないか?	設置方法にしたがって正しく電池を取り付ける
	煙を感知し点検スイッチを操作しなかったか?	しばらく(約6分間)待ってからもう一度点検スイッチを引く
警報器前面の赤色ランプが約10秒に一回点滅して、点検スイッチを約1秒間引いたとき、『ピピ有効期限を確認してください』のメッセージが鳴る	ー	電池が消耗しています お買い求めの販売店までご連絡ください
点検スイッチを約1秒間引いても煙を煙感知部に吹き入れても動作しない	ー	警報器の故障が考えられます お買い求めの販売店までご連絡ください
警報器の音声警報が鳴りやまない	煙感知部がホコリなどで汚れていないか?	煙感知部内部がホコリなどで汚れていることが考えられます お買い求めの販売店までご連絡ください

8. アフターサービス

1. 保証書
保証書はこの取扱説明書についておりますので、必ず「販売店名、お買い上げ日」など必要事項の記入をお確かめになり、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合
保証期間はお買い上げ日から5年間です。
取扱説明書「7. 故障かと思ったら」に従って調べていただき、まだ異常があるときは、お求めになった販売店へ修理をご依頼ください。
修理依頼されるとき必要な内容
◆ ご住所 ・お名前 ・電話番号 ・商品名 ・商品記号
◆ お買い上げ日 ・異常内容
5年を経過したものは、規定の煙濃度で警報しないなど誤作動の恐れがあります。お求めの販売店へご連絡いただき、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
3. アフターサービスについてのお問い合わせ
保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点がありましたら、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

9. 廃棄する場合

この部分にマイナスドライバーを差し込んで電池ふたを取り外し、内蔵電池を取り外してください。

廃棄する場合は内蔵電池を取り外し、分別廃棄をお願いします。本警報器のリチウム電池は充電できない『一次電池』ですので、一般の不燃ゴミとして廃棄できますが、具体的な廃棄方法は各自治体の基準によります。

10. 仕様

商品名	住宅用火災警報器
商品記号	SS-2LF(CB)
定格	6V 250mA
電源	6Vリチウム電池(専用電池)
電池寿命	5年(通常のご使用時)※
感知方式	煙式(光電式)
感知性能	2種
警報音	火災サイレン音+音声警報
警報音量	火災サイレン音70dB以上(1m)
寸法	125mm×85mm×34mm (取り付け部を除く)
質量	約160g
使用温度範囲	0℃~40℃(結露しないこと)

※通常のご使用時とは、取付時の試験および月1回の定期試験を行った程度。
・商品の仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

ホーチキ

住宅用火災警報器(ハイガード)

煙感知タイプ(光電式)
商品記号 SS－2LF(CB)

取扱説明書

日本消防検定協会鑑定合格品

火災時に発生する煙を素早くキャッチ!

■安心!
長期5年保証
■安心!
長寿命電池(5年)を採用
■安心!
火災を音声でお知らせ
■安心!
機能点検スイッチ付き
■簡単!
取り付け簡単壁掛け型

● このたびは、本警報器をお買い上げいただき、ありがとうございました。
● お使いになる前に、この取扱説明書をお読みいただき、内容をよくご理解ください。
● 本書(取扱説明書および保証書)は取り付け後も大切に保管し、いつでも使用できるようにしてください。
● この警報器は、火災による煙を感知して警報を発するものです。火災を防止する装置ではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

警報器をご使用になる皆様へ

警報器を正しくお使いいただくために、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書には絵表示をしています。それぞれの表示と意味は以下のようになっていますので、内容をよく理解してから本文をお読みください。

■ 誤った設置や取り扱いによる危害や損害の程度を以下の表示で示しています。

⚠ 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定されることを表しています。
⚠ 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害が想定される場合を表しています。
	「一般的な禁止」事項を示しています。
	「分解禁止」を示しています。
	「必ずおこなう」事項を示しています。

商品のご確認

警報器(1台)

専用電池(1個)

取付ネジ(1本)

電池ふた(1個)

取扱説明書(本書)

ご使用上の注意

⚠ 警 告

 ・警報器は絶対に分解しないでください。

 ・警報器を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

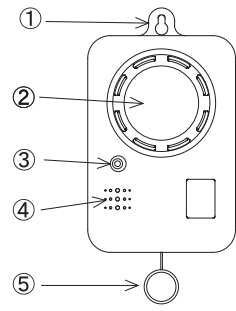
 ・警報器の有効期限は5年です。有効期限を過ぎた場合は、新しい警報器とお取り替えください。規定の煙濃度で警報しないなどの誤作動の恐れがあります。

⚠ 注 意

・この警報器は煙を感知して警報するもので、火災の防止装置ではありません。
・警報器を取り付けた部屋の扉やふすまを閉める時は、他の部屋で発生した火災による煙が警報器までとどかず警報を発しない場合があります。
・火災時の煙は上昇するため、2階で発生した火災を1階に取り付けた警報器で発見することはできません。
・警報器の前に、物を置いたり取り付けたりしないでください。警報の遅れの原因となります。
・殺虫剤(くん煙殺虫剤、加熱蒸散殺虫剤なども含む)、化粧品などのスプレーを警報器の近くで使用すると、警報器が警報を発することがありますが、しばらくすると鳴りやみます。
・この警報器は、消防法で定められた自動火災報知設備には該当しないため、それらの設備への使用や接続はできません。
・使用状況により、5年経過する前に電池がなくなることがあります。

2-8-000-1554-151

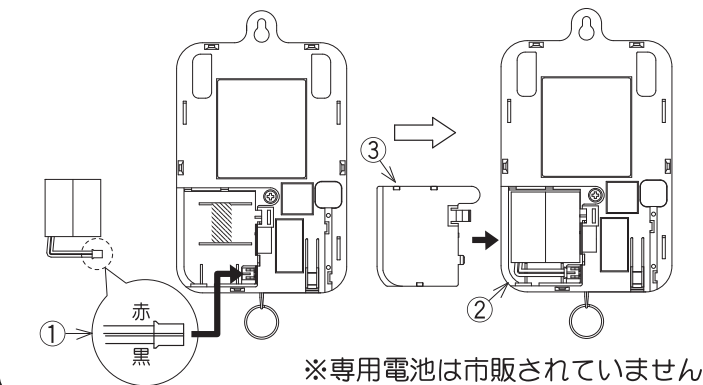
1. 各部のなまえとはたらき

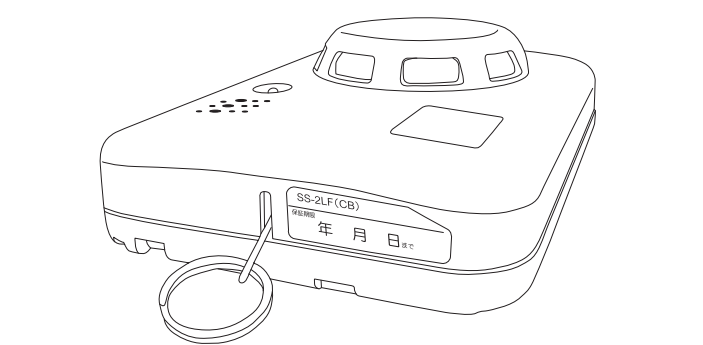
①取り付け孔
②煙感知部
・ここで煙を感知します。
③赤色ランプ（火災表示灯）
・火災時に点灯します。
・監視時に赤色ランプが約10秒に1回点滅している時は電池容量が少なくなっています。
この時、点検スイッチ(⑤)を約1秒間操作すると有効期限を確認するメッセージが流れます。
④音響部
・ここから警報音声メッセージが流れます。
⑤点検スイッチ（警報音声停止スイッチ）
・『5. 使用方法 警報を止めるとき 点検のしかた』を参照してください。

2. 電池の取り付け方

電池の取り付けは次に従って行ってください。

警告 コネクタの向きを間違え無理に差し込むと、電池の発火や警報器の故障の原因となります。

警報器に付属の専用電池を取り付けてください。
①警報器裏側電池ホルダー横にあるコネクタ差し込みに付属電池のリード線先端にあるコネクタを差し込みます。差し込む際は、赤いリード線が警報器の上側になるよう差し込んでください。
②電池を下図の様に収納し、リード線が電池ホルダーからはみ出さない様に収めてください。
③電池ふたを横からはめ込みます。

※専用電池は市販されていません。

3. 保証期間の記入

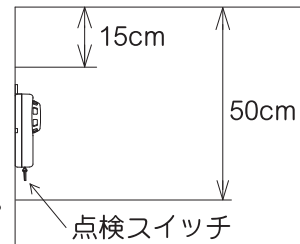
お買い上げ日から、5年間が保証期間となります。
交換時期の目安として本体下部のシールに、お買い上げ日から5年後の日付をご記入ください。

4. 取り付け

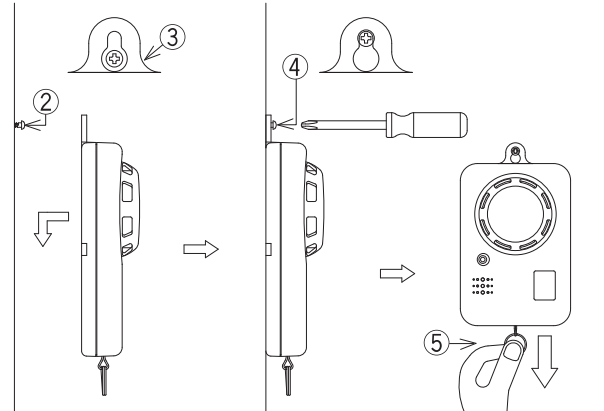
⚠注意

警報器は必ず正しい位置に取り付けてください。
誤った位置に取り付けると火災による煙を正常に感知できず、誤作動の原因となります。
付属の取り付けネジ以外でお取り付けする場合は、点検スイッチを引っぱった際に本警報器が落下しないことを確認してください。

取り付け場所

1. この警報器は特に次のようなところへの設置をおすすめします。
・寝室
特にお年寄り、小さなお子様やご病気の方がお休みになっている部屋。
・階段や廊下

2. 警報器の取り付け位置。
・天井面下15cmから50cmまでの範囲の壁面に取り付けてください。
・警報器の点検スイッチ（警報音停止兼用）が操作しやすい位置に取り付けてください。

取り付け方法

① 取り付け位置を決めてください。
② 付属の取り付けネジを壁に途中までねじ込んでください。
③ 警報器上部にある取り付け孔を取り付けネジに掛けてください。
④ さらにネジをしめ込んでください。
⑤ 点検スイッチを約1秒間引き、警報音が鳴ることを確認してください。

⚠注意 次のような場所には取り付けないでください。火災による煙を正常に感知できず、誤作動や故障の原因となります。

・エアコンなどの空気の吹き出し口の近く
煙が流されてしまったり、ホコリやチリが煙感知部に入り、はたらきが悪くなるおそれがあります

・照明器具から60cm以上離してください

・取り付け場所の温度が0℃を下まわる場所、または40℃を超える場所

・浴室など水や蒸気のかかる場所や結露する場所

・たれ壁やはりから60cm以上離してください

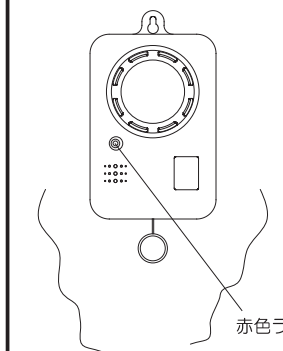
・火災以外の煙や蒸気がかかる場所
車庫など

・屋外（屋内専用です）

5. 使用方法

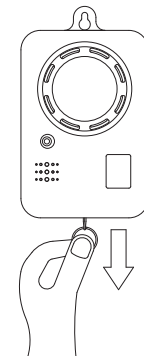
火災の場合

火災による煙が発生した場合

火災警報器の周囲に煙が発生した場合、下のように作動します。

赤色ランプが点灯し、火災警報音「ウーウー 火事です 火事です ウーウー」が連続して鳴動します

・火元を確認し、119番へ通報するなど適切な処置をしてください。
・避難してください。

警報を止めるとき

・煙が無くなれば警報音は自動的に停止します。
また、赤色ランプは消灯します。
・点検スイッチを約1秒間引くと警報音が停止します。
煙が残っている場合は、約6分後に再び警報します。
煙感知部の煙がなくなり、自動停止するまで警報を繰り返します。
なお、赤色ランプは煙感知部に煙が無くなるまで点灯し続けます。

火災でない場合

⚠注意

火災以外でも次のような場合警報することがあります。点検スイッチを約1秒間引くか室内を換気すれば警報が止まりますので、警報器を取り外さないでください。

・スプレー式殺虫剤、ヘアースプレーなどが直接かかった時。
・たばこの煙を警報器に吹きかけた時。
・調理の煙や水蒸気などが警報器にかかった時。
・くん煙式殺虫剤などの煙を発生させた時。

点検のしかた

⚠注意 点検時は高所作業となり、転倒や落下などの危険があります。足場の確保など安全に作業できるようにご留意ください。

・警報器前面の表示灯が約10秒に1回点滅しているときは電池が消耗しています。ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
・下記の要領で1ヶ月に1回程度の点検をおすすめします。

機能の確認

①警報器底面に付いている点検スイッチを約1秒間引いてください。
②次の音声が鳴れば正常です。
『ウーウー 火事です 火事です ウーウー』
次の音声が鳴った場合は電池容量が残り少なくなっていますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。『ピピ 有効期限を確認してください』
③点検スイッチを約1秒間引いても音声が鳴らないときは、『7. 故障かと思ったら』をお読みください。